

能登半島地震(3/25 9:42 発生)で現地ボランティアセンター立ち上げに協力

防災落語でも有名な三遊亭京楽師匠の好意により 3/24,25 の予定で復興イベント「小千谷落語会」を催していた。3/25 9:42 地震発生。11 時すぎ先遣隊として、吉村さん(ヒューマンシールド神戸)、新保さん(チーム絆)、小林さん(あかつき VN)と小千谷を出発した。途中日本財団黒澤さんより、富山県の炊き出し釜メーカーの山本さんが現地入りしているとの情報をいただく。3/25 の 19 時ころ、輪島市役所を訪ね、ボランティアセンター開設の必要性を説く(右写真)。続いて、輪島市社会福祉協議会を訪ねるが、あまりに早期の外部ボラの申し出なので、困惑気味である。

被害甚大な道下(とうげ)地区入りし、諸岡公民館(旧門前町:昨年 2 月に輪島市と合併した)で先行した



山本さん、地元災害ボランティアコーディネーターの岡本さんにお話を伺った。地元による炊き出しも、自衛隊おにぎりも、日赤救護所も開設され「医食住」はまずまずの出だしであった。翌朝 3/26 に気付くと、仮設トイレも 4 器増設されている。(左写真)

門前支所(旧町役場)で 8 時,10 時,12 時,14 時,16 時,19 時と打ち合わせ。当初のボラセン開設予定場所は 1F の出納室+テント一張。石川県本部と現場の距離が近づかないまま、輪島市社協をトップに、JC(青年会議所)の協力を得ていく方針が定まった。隣接する門前東小

学校にボラセン開設の方針が、門前災害対策本部から出たのが 18 時過ぎ。開設予定電話番号を記載した、地元向けの「ニーズ拾いチラシ」を印刷し翌 3/27 朝に避難所で配布する。

出納室から小学校にボラセンを移転し、電話開設し 3/27 13 時に電話受け付け開始した。写真(下)はテントでの受付(取材)風景。ニーズ受付だけのつもりがボランティア受付もあり、石川県のボラバス(3/29 より)若干先行してしまった。晩に帰郷する。



2 回目の能登行きは 3/31,4/1、海老名災ボラ会員の勤め先の大洋テクノ様からダンボールトイレ 30 個、避難所間仕切り 3 セットをいただいた。(写真は R249 路上) 川崎災害植山さんと共に現地入りし、門前災害対策本部、門前会館避難所にサプル設置し、健民体育館(物資倉庫)に収めた。現地では、ボランティアの作業待ちや、ニーズへの対応不十分も発生し、先を読んだコーディネートの必要性を痛感した。

(高田) [写真提供: あかつき VN]